

## 本郷キャンパス「キャリアてっぺんフォーラム」

### 3 学生が就活を熱く語る

2月9日、仁愛ホールに は、本郷キャンパス初の「キャリアてっぺんフォーラム」開催の緊張感が漂いました。清田里穂・同実行委員会委員長（外国語学部3年）と、桐生知怜・キャリアリーダー委員会委員長（同）が開会の言葉を述べ、川邊信雄学長のエールを受けてフォーラムがスタート。湯浅まなみさん（短大



小方さん

から何度も連絡があり、心ある献身的な対応に涙を流しました。最終的に「ここで働きたい」と強く思った企業に通い詰め、

文京学院内外での学びや活動に一生懸命取り組んでいる姿を示すことで、後輩たちに「気付き」を得てもらおうとスタートした「てっぺんフォーラム」。今回は、「キャリア活動」に焦点を当て、本郷キャンパスの学生たちが「キャリアてっぺんフォーラム」を開催しました。自己否定を感じて落ち込みながらも、本当にやりたい仕事と巡り会った先輩や、自分の個性を信じて就活に臨んだ先輩。その経験と思いを、3人の学生が熱く語りました。

営業職として内定をいただきました。小方さんは後輩に「企業研究、気分転換友だちは大事。就活を始めたらキャリアセンターへ」とアドバイスしました。

**小方健太郎さん**  
(外国語学部4年)

管工機材等の国内販売と輸出入の商社

**夏井麻衣さん**  
(短期大学2年)

大手系列住宅設備機器、証明器具等の販売・施工会社

小方さんは、営業研究会と巡り会ったことで刺激を受け、就職活動に力が入りました。ところが現実には厳しく、落ち込む日々。その間、キャリアセンター職員

井さんは、猛勉強を開始。「4年制も短大も関係はない。面接では自分の言葉で語れば良い」という心境になりました。面接では、「私は御社でこういうことをやりたい」という抱負をしっかりと語り、内定をいただく

夏井さんは「自己の軸を持つこと、友だち・家族の存在の大切さ」を強調しました。



夏井さん

グループ面接では販売場面のロールプレイを体験。3次面接では与えられた課題に対してのプレゼンを行い、内定をいただく

**河辺真里菜さん**  
(経営学部4年)

国内最大級のファッション通販サイト運営会社

河辺さんは、桐生キャリアリーダー委員会委員長と渡辺沙由里さん（同委員）短大2年）からのインタビューを受ける形で就活を語りました。

河辺さんにとっては、服装も髪型も自分の「個性」のひとつ。「在りのままの自分」を受け入れてくれるアパレル業界を目指しました。「電話面接」を皮切りに、



河辺さん

「まだ課題があるという事は、いくらでも改善し、より良いものの追求ができる」ということなので、更なる発展を目指し今後も活動していきます」

河辺さんは「就活に時間がかかっても、本当に自分に合った企業を選ぶことの大切さ」を力説しました。最後には、スタッフ全員が壇上上がり、来場した学生たちに就活出陣のエールを送りました。清田実行委員長は、以下の力強い言葉を寄せてくれました。「キャリアてっぺんフォーラム実行委員会とキャリアリーダー委員会が意見を交わし合い、問題を提起し、解決に導くプロセスを共に歩んできた中で、確実に両委員会の成長を感じました。学生一般生にも『てっぺん』という言葉が広まっています。まだ課題があるという事は、いくらでも改善し、より良いものの追求ができる」ということなので、更なる発展を目指し今後も活動していきます」